

Date of Dispatch: May 10, 2003

NOTICE OF REJECTION

Patent Application No.: 2003-374769

Cited Documents:

1. JP Laid-Open Patent/Utility Publication No:S59-061587
2. JP Laid-Open Patent/Utility Publication No:S63-145747
3. JP Laid-Open Patent/Utility Publication No:H01-227119
4. JP Laid-Open Patent/Utility Publication No:S57-042003
5. JP Laid-Open Patent/Utility Publication No:H01-191117

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2003-374769
起案日 平成17年 4月27日
特許庁審査官 河原 正 9017 2X00
特許出願人代理人 長谷川 芳樹(外 2名) 様
適用条文 第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

(理由1)

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の特許出願に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

記

・請求項1-4、6に係る発明に対して：刊行物1-4

(理由2)

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の特許出願に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

・請求項1-6に係る発明に対して：刊行物1-5

備考

刊行物1-4には、請求項1-4、6に係る発明と同様な回転部材を備えたシャッタユニットが記載されている。

また、光吸収部材をシャッタユニットに設けることは、本出願前に周知の技術にすぎない。

刊行物5に記載されたような、シャッタユニットにおけるシャッタの通過位置・遮断位置の検出手段として、遮光板及び2つのフォトインタラプタを用いる技術を、刊行物1-4に記載されたシャッタユニットに採用することは、当業者にとって容易である。

(刊行物一覧)

刊行物1：特開昭59-061587号公報(図10、11等) /
刊行物2：実願昭63-145747号(実開平02-065493号)のマイクロフィルム(図1、2等)
刊行物3：特開平01-227119号公報(図2等) /
刊行物4：特開昭57-042003号公報(図面等) /
刊行物5：特開平01-191117号公報(図面等) /

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら、特許庁審査第1部光デバイス 河原 正(TEL03-3581-1101 内線3255)までご連絡下さい。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 G02B26/02
H01S3/00
B23K26/00

DB名

・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。